

注意

お買い上げのお客様へ必ずお読みください。

- 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品がありますので、小さなお子様がお飲み込まないように注意してください。窒息などの危険があります。
- ビニール袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 尖った部分や鋭い部分がありますので、取り扱いや保管場所に注意してください。思わぬケガをする恐れがあります。

パーツの使い方

パーツのを見つけ方

① プレート
② ハーブ番号

パーツの切り方

① 必ず、パーツから少し離れた位置にニッパーの刃を入れて切ります。
② ニッパーの刃をパーツに密着させて、きれいに仕上げます。

PC部品の取り付け方

PC部品は軟質素材のため、つぶさないようにまっすぐ取り付けましょう。

※説明のイラストは一例です。

パーツリスト

(X印は使用しないパーツです。)

| | | | |
|--------------------------------------|---|--|--------------------------------------|
| Aパーツ(グリーン) (スチロール樹脂: PS) | B1パーツ(グリーン) (スチロール樹脂: PS) | C1パーツ(ダークグリーン) (スチロール樹脂: PS) | C2パーツ(ブラック) (スチロール樹脂: PS) |
| Dパーツ(ダークグレー) (スチロール樹脂: PS) | E1パーツ(グレー) (スチロール樹脂: PS) | E2パーツ(グレー) (スチロール樹脂: PS) | Fパーツ(ダークグレー) (スチロール樹脂: PS) |
| PC-001(グレー) (ポリエチレン: PE) | カラーシール.....1枚 ※3~6は使いません。 マーキングシール.....1枚 | | |

組み立て中に注意する箇所

- ! 向きに注意して組み立てる
- シールの番号
- x2 部品を数個の個数を作る
- 両側に同じパーツを取りつける

部品の向きや左右など、イラストをよく見て組み立ててください。

1

パーツをはさみ込む場合は、入れられないように注意しましょう。

2

PC部品は、ななめにならないように注意してはめ込んでください。

3

4

左右を別々に可動させたい場合は切り離します。

5

6

※切り取らないように注意してください。

7

8

9

10

11

12

13

※きれいに切り取ります。

14

15

※レバーを動かしてモノアイを動かすことができます。

16

組み立て中に注意する箇所

- ! 向きに注意して組み立てる
- シールの番号
- x2 部品を数個の個数を作る
- 両側に同じパーツを取りつける
- どちらかを選んで取りつける

8

※シールは先に貼ります。

9

10

11

12

※きれいに切り取ります。

13

※きれいに切り取ります。

14

15

※レバーを動かしてモノアイを動かすことができます。

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

向きをかえます。

組み立て中に注意する箇所

- ! 向きに注意して組み立てる
- シールの番号
- x2 部品を数個の個数を作る
- 先に組み立てる
- 両側に同じパーツを取りつける
- 後から組み立てる

17

18

19

20

21

22

23

24

25

向きをかえます。

26

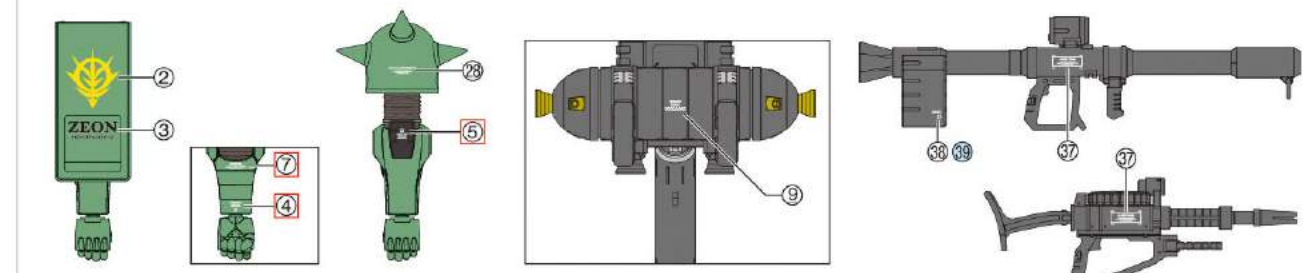
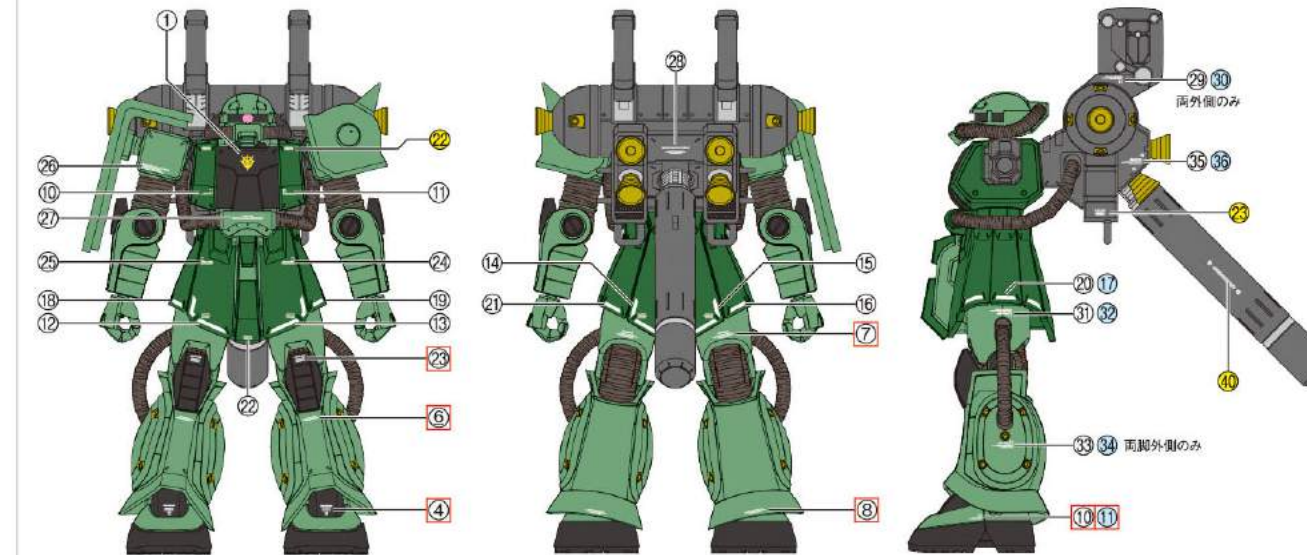
地獄の果てまで一緒だぜ!! 少尉!!

20機以上のMSを投入し、<サンダーボルト宙域>への総攻撃を仕掛けた「ムア同団」。これに対して「リビング・デッド師団」はわずか数機のMSでの防戦を強いられていた。しかもそのうちの1機——サイコ・ザクは敵艦中隊への単機での突入を狙っていたため、残りの機体は敵を引き付けるための囮でもあった。

<サンダーボルト宙域>最深处に防衛線を展開する「リビング・デッド師団」のMS部隊。しかし、乏しい戦力の囮で敵部隊を押し留めることが不可能であることは、彼らが一番よくわかっていた。

そのうちの1機、ザクIIはマゼラン級の残骸に隠れ、敵を待ち受けていた。接近する敵部隊のうちの2機を撃破すると、その場を離脱。デブリの間を避けて距離を取ろうとする。ギリギリに近い戦法だが、戦力差を補うには地の利を活かすばかりでなく、敵艦宙域の最深处は唯一、それが可能な場所であった。しかし、残骸の中から飛び出したザクIIは、敵部隊の一斉射撃を受け爆散するのだった……。

※画像はイメージです。



①～⑩の番号はマーキングシールの番号です。
●反対側にも同様に貼ります。○反対側はこの番号を貼ります。□両側または両側とも同様に貼ります。※余ったマーキングシールは好みで自由にお貼りください。
●画像と商品は多少異なりますのでご了承ください。

COLOR+MARKING GUIDE ※オリアに仕上げたい方は、こちらの基本色をご確認ください。※塗料には、必ず安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。※カラー配合は参考値であり、画像とカラーガイドの色は異なる場合があります。

| | | | |
|--|---|--|--|
| ● 本体等: グリーン(45%) + ニュートラルグレー(45%) + ブラウン(10%) | ● 胴体等: 濃緑色(1)(70%) + グレー(30%) | ● 武器、ランドセル等グレー部: グレー(85%) + ブラック(10%) + ココアブラウン(5%) | ● モンアイ、スコープ: ピンク(100%) |
| ● 関節シーリング部等: マホガニー(45%) + ホワイト(25%) + ブラック(20%) + マーク(10%) | ● 胴部、ヒザ等: ミッドナイトブルー(70%) + ブラック(30%) | ● ランドセル等ライトグレー部: ニュートラルグレー(80%) + ホワイト(20%) + インディブルー(極少量) | ● ヒートホーク 刃: ホワイト(80%) + イエロー(20%) + イエローグリーン(少量) |
| ● フット: ミッドナイトブルー(50%) + クリアイエロー(40%) + ブラック(10%) | | | |

MS-06 ZAKU II

GUNDAM THUNDERBOLT Ver.

機動戦士ガンダム
サンダーボルト



© 創通・サンライズ

顧みられない者たちの戦い

一年戦争中の「サンダーボルト」

<サンダーボルト宙域>を巡る「リビング・デッド師団」<ムア同団員>の戦い。両者の戦いは、激化の一途を辿り、その中で幾多の命が宇宙に散っていった。一年戦争を戦った名も無き兵士の多くがそうであったように、彼らの戦いもまた歴史の中のひとコマでしかなく、戦史に描かれる華々しい戦いとエースパイロットたちの活躍の場には、生き残るために死力を尽くして一戦勝負を戦った彼らの物語があったのである。

サンダーボルト宙域

サイド4<ムア>の跡地である暗黒宙域の遠征。コロニーの残骸などが漂う航行の難所だが、ジオン公国軍にとってはアムロ・バグへの補給路として重要な宙域であった。<サンダーボルト>という名は、帯電した状態によって各所で放電現象が発生しているために名付けられた。また、この宙域には「サンダーボルト放電機」という高周波放電機があり、この放電現象を利用して放送を行っている。



機動戦士ガンダム サンダーボルト

ハードBF作品「MOONLIGHT MILE」で知られる太田順彦脚本、正が手がけた本作は、一年戦争をテーマに、人形ドラマによって独自の視点で描いている。ストーリーをはじめ、独特なMSデザインなど、太田脚本独自の解釈も見どころである。
機動戦士ガンダム サンダーボルトは「リビング・デッド師団」で開発されています。



リビング・デッド師団

<サンダーボルト宙域>を巡るジオン公国軍の暗黒部隊。手足などを欠損した兵士で構成され、彼らが使用する機体から「デッド」を取ったための異名としての特徴もある。空母「ライドフィッシュ」を母艦とする。



MOBILE SUIT GUNDAM THUNDERBOLT

一年戦争を舞台にしたオリジナルストーリーが、ついに真剣の漫画作品から実写ドラマでアニメ11「流れるジャズ音楽、麗しのメロディ」による狂気の戦艦シーンが展開し、多くのガンダムファンを魅了する。

MS-06 量産型ザク(ザクII)

一年戦争におけるジオン公国軍の主力MS。「リビング・デッド師団」で運用されたザクIIは、ベース機にはない機構や装備を有する。追加された機構として、動力パイプをはじめ、各関節部へのシーリング処理が施された点が挙げられる。また、ヒザ部の装甲にもショックアブソーバーが設けられた他、足底部には姿勢固定用のクローが追加された。

背部の大型ランドセルは本機の特徴ともいえる装備である。このランドセルには、4基のスラスタと10基のアポジ・モーターが備えられ、機体に高い機動性と運動性を付与した。また、プロベラントタンクを接続することで、戦闘継続時間の延長も成し遂げた。なお、ランドセルの大型化に伴い、腹部の動力パイプが延長されている。

サブアーム

ランドセル上部の左右に設けられた軽作業用の簡易マニピュレーター。非使用時は折り畳まれている。

シールド

右肩に設置された装甲板式のシールド。胴部とシールド基部はアームを介して接続されており、ある程度の可動範囲を有していたようだ。

ヒートホーク

赤熱した刃で敵装甲を溶解するザクII用の格闘兵器。攻撃範囲は狭いが、ジムをも両断する威力を発揮する。



動力パイプ/関節シーリング部

デブリとの接触による破壊を防ぐためのシーリングが施された。また、胴体部の動力パイプはランドセルの大型化に合わせて、延長されている。



ランドセル

ザクIIの高機動化を目的とした大型のランドセル。スラスタやアポジ・モーターの他、サブアームも有する多目的ユニットである。

プロベラントタンク

スラスタの増設などによる推進剤消費量の増加に対応した装置。ランドセルの中心部に設置され、ウェポン・ラックとしても使用された。

※データは劇中の設定です。 ※一部の画像はバンダイプラモデルアクションベース2(別売り)を使用しています。

26 組み立て中に注意する箇所

27

28

29

30 ※手首は外しておきます。

31 ※手首は外しておきます。

32

33

34

1/144 SCALE



GUNDAM.INFO Search

www.gundam.info

バンダイホビーサイト | www.bandai-hobby.net/

BANDAI 2016 MADE IN JAPAN

●画像の完成品は塗装してあります。 ●ここに掲載している情報は2016年4月現在のものです。

0209046



注意

お買い上げのお客様へ必ずお読みください。

- 本商品の対象年齢は15歳以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品がありますので、小さなお子様が見て飲み込まないように注意してください。窒息などの危険があります。
- ビニール袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 尖った部分や鋭い部分がありますので、取り扱いや保管場所に注意してください。思わぬケガをする恐れがあります。

※このキットの組み立てには+（プラス）ドライバーを必ずご用意ください。

パーツの探し方

D7

※説明のイラストは一例です。

パーツの切り方

1 ①まず、パーツから少し離れた位置にニッパーの刃を入れて切り取ります。

2 ②ニッパーの刃をパーツに密着させて、きれいに仕上げます。

パーツリスト

BA1パーツ(グレー)
(スチロール樹脂: PS)

BA2パーツ(グレー)
(スチロール樹脂: PS)

BB1パーツ(ダークグレー)
(スチロール樹脂: PS)

BB2パーツ(ダークグレー)
(スチロール樹脂: PS)

BCパーツ(ライトパープル)
(スチロール樹脂: PS)

BD1パーツ(クリアレッド)
(スチロール樹脂: PS)

BD2パーツ(ダークグレー)
(スチロール樹脂: PS)

ドライバーの選び方

※ビスに合ったドライバーをご使用ください。サイズの合わないドライバーを使用するとビスを破損してしまう場合があります。

ビス.....6本
ナット.....6個
カラーシール.....1枚
マーキングシール.....1枚

※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

組み立て中に注意する箇所

1 向きに注意して組み立てる

2 部品を数個の仮動作

3 両側に同じパーツを取りつける

4 シールの番号

5 反対側に取り付けるパーツ

部品の向きや左右など、イラストをよく見て組み立ててください。

1

BB1①

BA1②

BA1③

BB1④

BB2⑤

BB1⑥

BB1⑦

BB2⑧

BB1⑨

BB1⑩

BB1⑪

BB1⑫

BB1⑬

BB1⑭

BB1⑮

BB1⑯

BB1⑰

BB1⑱

BB1⑲

BB1⑳

BB1㉑

BB1㉒

BB1㉓

BB1㉔

BB1㉕

BB1㉖

BB1㉗

BB1㉘

BB1㉙

BB1㉚

BB1㉛

BB1㉜

BB1㉝

BB1㉞

BB1㉟

BB1㊱

BB1㊲

BB1㊳

BB1㊴

BB1㊵

BB1㊶

BB1㊷

BB1㊸

BB1㊹

BB1㊺

BB1㊻

BB1㊼

BB1㊽

BB1㊾

BB1㊿

2

BA1①

BA1②

BA1③

BA1④

BA1⑤

BA1⑥

BA1⑦

BA1⑧

BA1⑨

BA1⑩

BA1⑪

BA1⑫

BA1⑬

BA1⑭

BA1⑮

BA1⑯

BA1⑰

BA1⑱

BA1⑲

BA1⑳

BA1㉑

BA1㉒

BA1㉓

BA1㉔

BA1㉕

BA1㉖

BA1㉗

BA1㉘

BA1㉙

BA1㉚

BA1㉛

BA1㉜

BA1㉝

BA1㉞

BA1㉟

BA1㊱

BA1㊲

BA1㊳

BA1㊴

BA1㊵

BA1㊶

BA1㊷

BA1㊸

BA1㊹

BA1㊺

BA1㊻

BA1㊼

BA1㊽

BA1㊾

BA1㊿

3

3箇所、同じ組み立てを行います。

1

2

3

BB1①

BB1②

BB1③

BB1④

BB1⑤

BB1⑥

BB1⑦

BB1⑧

BB1⑨

BB1⑩

BB1⑪

BB1⑫

BB1⑬

BB1⑭

BB1⑮

BB1⑯

BB1⑰

BB1⑱

BB1⑲

BB1⑳

BB1㉑

BB1㉒

BB1㉓

BB1㉔

BB1㉕

BB1㉖

BB1㉗

BB1㉘

BB1㉙

BB1㉚

BB1㉛

BB1㉜

BB1㉝

BB1㉞

BB1㉟

BB1㊱

BB1㊲

BB1㊳

BB1㊴

BB1㊵

BB1㊶

BB1㊷

BB1㊸

BB1㊹

BB1㊺

BB1㊻

BB1㊼

BB1㊽

BB1㊾

BB1㊿

4

BB1①

BB1②

BB1③

BB1④

BB1⑤

BB1⑥

BB1⑦

BB1⑧

BB1⑨

BB1⑩

BB1⑪

BB1⑫

BB1⑬

BB1⑭

BB1⑮

BB1⑯

BB1⑰

BB1⑱

BB1⑲

BB1⑳

BB1㉑

BB1㉒

BB1㉓

BB1㉔

BB1㉕

BB1㉖

BB1㉗

BB1㉘

BB1㉙

BB1㉚

BB1㉛

BB1㉜

BB1㉝

BB1㉞

BB1㉟

BB1㊱

BB1㊲

BB1㊳

BB1㊴

BB1㊵

BB1㊶

BB1㊷

BB1㊸

BB1㊹

BB1㊺

BB1㊻

BB1㊼

BB1㊽

BB1㊾

BB1㊿

組み立て中に注意する箇所

1 向きに注意して組み立てる

2 部品を数個の仮動作

3 両側に同じパーツを取りつける

4 シールの番号

5 反対側に取り付けるパーツ

6

BB1①

BB1②

BB1③

BB1④

BB1⑤

BB1⑥

BB1⑦

BB1⑧

BB1⑨

BB1⑩

BB1⑪

BB1⑫

BB1⑬

BB1⑭

BB1⑮

BB1⑯

BB1⑰

BB1⑱

BB1⑲

BB1⑳

BB1㉑

BB1㉒

BB1㉓

BB1㉔

BB1㉕

BB1㉖

BB1㉗

BB1㉘

BB1㉙

BB1㉚

BB1㉛

BB1㉜

BB1㉝

BB1㉞

BB1㉟

BB1㊱

BB1㊲

BB1㊳

BB1㊴

BB1㊵

BB1㊶

BB1㊷

BB1㊸

BB1㊹

BB1㊺

BB1㊻

BB1㊼

BB1㊽

BB1㊾

BB1㊿

7

BD2①

BD2②

BD2③

BD2④

BD2⑤

BD2⑥

BD2⑦

BD2⑧

BD2⑨

BD2⑩

BD2⑪

BD2⑫

BD2⑬

BD2⑭

BD2⑮

BD2⑯

BD2⑰

BD2⑱

BD2⑲

BD2⑳

BD2㉑

BD2㉒

BD2㉓

BD2㉔

BD2㉕

BD2㉖

BD2㉗

BD2㉘

BD2㉙

BD2㉚

BD2㉛

BD2㉜

BD2㉝

BD2㉞

BD2㉟

BD2㊱

BD2㊲

BD2㊳

BD2㊴

BD2㊵

BD2㊶

BD2㊷

BD2㊸

BD2㊹

BD2㊺

BD2㊻

BD2㊼

BD2㊽

BD2㊾

BD2㊿

8

BB2①

BB2②

BB2③

BB2④

BB2⑤

BB2⑥

BB2⑦

BB2⑧

BB2⑨

BB2⑩

BB2⑪

BB2⑫

BB2⑬

BB2⑭

BB2⑮

BB2⑯

BB2⑰

BB2⑱

BB2⑲

BB2⑳

BB2㉑

BB2㉒

BB2㉓

BB2㉔

BB2㉕

BB2㉖

BB2㉗

BB2㉘

BB2㉙

BB2㉚

BB2㉛

BB2㉜

BB2㉝

BB2㉞

BB2㉟

BB2㊱

BB2㊲

BB2㊳

BB2㊴

BB2㊵

BB2㊶

BB2㊷

BB2㊸

BB2㊹

BB2㊺

BB2㊻

BB2㊼

BB2㊽

BB2㊾

BB2㊿

9

BD2①

BD2②

BD2③

BD2④

BD2⑤

BD2⑥

BD2⑦

BD2⑧

BD2⑨

BD2⑩

BD2⑪

BD2⑫

BD2⑬

BD2⑭

BD2⑮

BD2⑯

BD2⑰

BD2⑱

BD2⑲

BD2⑳

BD2㉑

BD2㉒

BD2㉓

BD2㉔

BD2㉕

BD2㉖

BD2㉗

BD2㉘

BD2㉙

BD2㉚

BD2㉛

BD2㉜

BD2㉝

BD2㉞

BD2㉟

BD2㊱

BD2㊲

BD2㊳

BD2㊴

BD2㊵

BD2㊶

BD2㊷

BD2㊸

BD2㊹

BD2㊺

BD2㊻

BD2㊼

BD2㊽

BD2㊾

BD2㊿

組み立て中に注意する箇所

1 向きに注意して組み立てる

2 部品を数個の仮動作

3 両側に同じパーツを取りつける

4 シールの番号

5 反対側に取り付けるパーツ

10

BA1①

BA1②

BA1③

BA1④

BA1⑤

BA1⑥

BA1⑦

BA1⑧

BA1⑨

BA1⑩

BA1⑪

BA1⑫

BA1⑬

BA1⑭

BA1⑮

BA1⑯

BA1⑰

BA1⑱

BA1⑲

BA1⑳

BA1㉑

BA1㉒

BA1㉓

BA1㉔

BA1㉕

BA1㉖

BA1㉗

BA1㉘

BA1㉙

BA1㉚

BA1㉛

BA1㉜

BA1㉝

BA1㉞

BA1㉟

BA1㊱

BA1㊲

BA1㊳

BA1㊴

BA1㊵

BA1㊶

BA1㊷

BA1㊸

BA1㊹

BA1㊺

BA1㊻

BA1㊼

BA1㊽

BA1㊾

BA1㊿

11

BA1①

BA1②

BA1③

BA1④

BA1⑤

BA1⑥

BA1⑦

BA1⑧

BA1⑨

BA1⑩

BA1⑪

BA1⑫

BA1⑬

BA1⑭

BA1⑮

BA1⑯

BA1⑰

BA1⑱

BA1⑲

BA1⑳

BA1㉑

BA1㉒

BA1㉓

BA1㉔

BA1㉕

BA1㉖

BA1㉗

BA1㉘

BA1㉙

BA1㉚

BA1㉛

BA1㉜

BA1㉝

BA1㉞

BA1㉟

BA1㊱

BA1㊲

BA1㊳

BA1㊴

BA1㊵

BA1㊶

BA1㊷

BA1㊸

BA1㊹

BA1㊺

BA1㊻

BA1㊼

BA1㊽

BA1㊾

BA1㊿



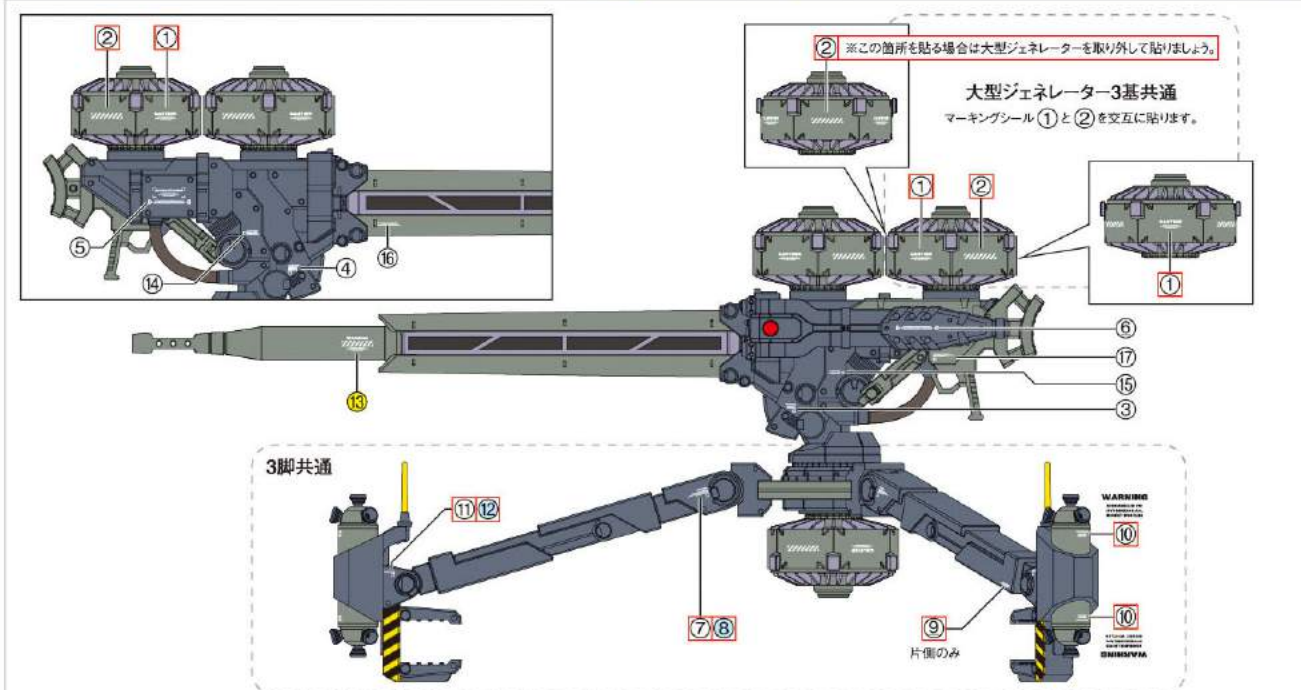
おまえを…、いつも狙ってるぞ!

<サンダーボルト宙域>—コロニーの残骸が漂う暗黒宙域に、ジオン公軍の「リビンク・テッド部隊」所属のスナイパー部隊のMSが展開していた。そのうちの機、ザクIIに乗るダリル・ローレンツ曹長はコックピット内に持ち込んだラジオから流れる海賊放送に耳を傾けながら、敵の姿を迎えようとスコープを覗き続けていた。遂にその時がやってくる。<サンダーボルト宙域>奪回を目指す地球連邦軍の一部隊「ムーア同僚団」のMS部隊が、宙域内に侵入してきたのである。ミノフスキー粒子による障害、およびコロニーの残骸という狙撃には不利な条件下において、ダリル曹長は敵MSを次々と撃破していく。味方と交代し、休息に入ったダリル曹長が気づいたとき、メインモニターのウィンドウには顔を撃ち抜かれたフーパー少尉の姿が映し出されていた。少尉を殺害しリックドムを乗っ取って戦場から離脱する地球連邦軍のイオ・フレミング少尉と、曹長は言葉を交わす。わずかな邂逅ではあったが、ふたりが互いをライバルと認めるには十分であった。

BIG GUN GUNDAM THUNDERBOLT Ver.

© 創通・サンライズ

機動戦士ガンダム
サンダーボルト



①～④の番号はマーキングシールの番号です。
●反対側も同様に貼ります。○反対側はこの番号を貼ります。□3脚または3基同様に貼ります。※余ったマーキングシールはお好みで自由にお貼りください。
※画像と実品とは多少異なる場合があります。

COLOR+MARKING GUIDE

| | | | |
|---|---|---|--|
| ● 本体、三脚等: グレー(50%) + ネイビーブルー(50%) | ● 機身内部: グレー(45%) + ダークシグレイ(45%) + ブラック(10%) | ● 機身内部 ブラック部: ブラック(100%) | ● 本体ケーブル等: マホガニー(45%) + ホワイト(25%) + ブラック(20%) + カーキ(10%) |
| ● 機身内部、大型ジェネレーター内部フィン等ブルー部: ダークシグレイ(90%) + パープル(10%) | ● アンテナ: イエロー(100%) + グレー(極少量) | ● センサー: 下地にシルバー(100%) + クリアレッド(100%) + ホワイト(少量) | |

1/144 SCALE

HG
GUNDAM THUNDERBOLT

BANDAI 2016. MADE IN JAPAN

GUNDAM.INFO Search
www.gundam.info
Any fees secured by your access method and connection to the website are not our responsibility.
※一部画像はバンダイプラモデルアクションベース2(別売り)を使用しています。

0207886

BANDAI

様々な思惑が交錯する<サンダーボルト宙域>

一年戦争中の「サンダーボルト」
U.C.0079.12月下旬、ソロモンはすでに陥落し、戦争は終結へと向けて進めつつあった。そうした情勢下において、かつてサイド4<ムーア>が存在した暗黒宙域—<サンダーボルト宙域>において、サイド4の居住者で構成された「ムーア同僚団」とジオン公軍「リビンク・テッド部隊」は死闘を繰り広げる。誰からも見られることのない戦場において、両軍のパイロットは自らの命を懸け、生き残るための戦いを続けるのだった。

サンダーボルト宙域
サイド4<ムーア>の跡地である暗黒宙域の選別。コロニーの残骸などが漂う航行の難所だが、ジオン公軍にとっては「ムーア同僚団」への補給路として重要な宙域であった。<サンダーボルト宙域>という名は、帯電した状態によって各所で放電現象が発生しているために名付けられた。また、この宙域には「サンダーボルト放送局」という海賊放送局があり、この放電現象を利用して放送を行っている。



ビッグ・ガン

ジオン公軍が開発した長距離ビーム砲で、リビンク・テッド部隊のスナイパー部隊が運用した。ビーム兵器の小型化に難航していたジオン公軍だったが、大型ビーム砲であれば開発可能であった。また、大型であれば狙撃に適した射程や出力を得ることが容易な点も本兵器が採用された理由と考えられる。
ビッグガンは、バレル、機関部(スコープやグリップも含む)、脚部の3つで構成される。特に機関部はビッグガンの中核を成す部位であり、上部に取り付けられた円筒形のパーツは大型ジェネレーターである。これによりエネルギーの供給をMS本体に依存する

必要はなくなり、ザクIIやリックドムといったジェネレーター出力の低い機体でもビッグガンの使用が可能となった。
ビッグガンは基本的に固定された状態で運用される。固定後、ビッグガンは周辺をスキャンし、周辺宙域の障害物やデブリの数などを把握する。これにより暗黒宙域である<サンダーボルト宙域>のような環境でも正確な射撃が可能となったのである。また、運用時にはMSとセットで配備されるため、乗員は定期的に交代することが前提となっている。

バレル
通常のビーム兵器と同じく、メガ粒子の収束と加速を行う部位。一定回数を射撃した後には、バレルを交換する必要がある。

大型ジェネレーター
こちらから供給されるエネルギーにより、ビッグガンは砲撃をも一撃で破壊する攻撃力を発揮した。



グリップ
機関部側面に取り付けられた発射管制装置で、フォアグリップも備える。ザクIIやリックドムのようにマニピュレーターの規格が異なるMSでも使用可能。

脚部
ビッグガンを固定するためのパーツ。デブリ等に本体を固定するためのクランプと、運搬時に使用するスラスターで構成される。



組み立て中に注意する箇所

3 部品を数値の個数作る

1 シールの番号

! 向きに注意して組み立てる

後から組み立てる

! その他注意するポイント

12 (BA2⑥) BA1⑥

3x

BA1⑥ (BA2⑥)

長い方

6x 7

シールの貼り方

1 2

11

※形を合わせてはめ込みます。

14

※量産型ザクIIで組み立てた手首を使用します。

B1⑩

B1⑩

B1⑩

※手首は外しておきます。

B1⑩

※形を合わせてはめ込みます。

※画像の完成品は塗装してあります。